

首題争議、永續三人之從、職工仍焦慮、結果組合幹部、使喉=依り暴挙=出らん傾向アリ、嚴密視察中十八が既報後、状況左記、如シ

記

一、争議関係、動靜

十八日以来、石川三全協会本部三連日男工二十名内外女工五名内外集合之結果、固らん外約同数、自定之於、内務之経事之解決ヲ待テ、及らん状態ナリ、争議関係本部ニ於テ、十八日別記「市民及全労働者諸君ニ訴フ」ビラヲ會社附近ニ撒布せん、同日出版労働組合、示威運動以來夜間ニ着心、會社ヲ襲撃或ハ博覧館ノ正午休憩時自ヲ利用シテ大暴示威運動

動ヲ行フマシト、流言ヲ放テ居ルニ、再探査、警戒嚴重ナルヲ以テ、敢行シ、依リテ漸次、悲憤者減少、模倣尤カ、東京合同労働組合伊藤兼學外ニ名ニ去ん十八日、石川三全協会、五十四番地、所在、社長定リ、向面會強要ヲテ、不徳行動ニ出テシトせんヲ以テ、一時檢束シ、更ニ二十日、會社職長木村、出勤職工保護ノ目的ヲ以テ、水道橋附近ニ見張中、嶺首職工岡崎三千太郎外十数名ノ為ニ、殴打サレ、同日、取締役伊藤太郎、右木村ノ珍數ヲ乞フベシ、醫師出、金中、亦、関東印刷労働組合、身下、認ハマキ、三名ノ為ニ、殴打サレ、目下犯人ノ捜査中ニ、爲ス

二、會社関係、態度